

平成24年4月26日

## 原料費調整制度に基づく平成24年6月検針分のガス料金について (東京地区等)

東京ガス株式会社  
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、平成24年6月検針分の単位料金を、平成24年5月検針分に比べ $1\text{m}^3$  (45MJ)につき1.29円(消費税込)上方に調整させていただきます。

今回の調整は、平成24年1月～平成24年3月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1ヵ月に $32\text{m}^3$ のガスをお使いになる標準家庭で平成24年5月検針分と比較して、41円(消費税込)ガス料金が上がります。

平成24年6月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

### 1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Fの各料金が適用されます。

	(消費税込)					
1ヵ月のご使用量	料金表A 0～ $20\text{m}^3$	料金表B 21～ $80\text{m}^3$	料金表C 81～ $200\text{m}^3$	料金表D 201～ $500\text{m}^3$	料金表E 501～ $800\text{m}^3$	料金表F $801\text{m}^3$ ～
基本料金 (円/月)	724.50	1,110.90	1,312.50	1,774.50	6,709.50	12,589.50
調整単位料金 (円/ $\text{m}^3$ )	154.43	135.11	132.59	130.28	120.41	113.06
(参考) 5月 調整単位料金	153.14	133.82	131.30	128.99	119.12	111.77

### 2. 標準家庭における影響

	(消費税込)		
1ヵ月のご使用量 $32\text{m}^3$ (45MJ/ $\text{m}^3$ )	平成24年 5月	平成24年 6月	増減
適用料金(円/月)	5,393	5,434	41

\* 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(平成18年度～平成22年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。

\* 平成23年6月検針分から、標準家庭におけるガスご使用量を $34\text{m}^3$ から $32\text{m}^3$ に見直しました。  
(平均使用量の算定期間を平成13年度～平成17年度の5ヵ年から平成18年度～平成22年度の5ヵ年に見直したことによるもの。)

### 3. 原料価格の変動

(円/t)

	平成23年12月～平成24年2月の平均 (5月検針分)	平成24年1月～平成24年3月の平均 (6月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	66,420	67,910	1,490
LNG	66,370	67,550	1,180
LPG	69,090	79,570	10,480
基準平均原料価格(b)	66,180		
差額(a-b)	200	1,700	1,500

\* LNG 価格、LPG 価格はともに貿易統計値。

\* 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

### 4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} & \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} && 67,550 && \times 0.9658 \\ & + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} && 79,570 && \times 0.0336 \end{aligned}$$

67,913.34

↓(10円未満四捨五入)

67,910 円/t

■ 原料価格変動額の算定

$$67,910 \text{ 円/t} - 66,180 \text{ 円/t} = 1,730 \text{ 円/t}$$

↓(100円未満切捨て)

1,700 円/t

■ 単位料金調整額(m<sup>3</sup>あたり調整額)の算定

$$\text{単位料金調整額} = 1,700 \text{ 円} / 100 \text{ 円} \times 0.0861^*$$

$$= 1.46 \text{ 円} \quad (\text{小数点第3位切捨て})$$

\* 変動額100円につき単位料金を0.0861(0.082×1.05)円調整します

<標準家庭における影響>

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 32m <sup>3</sup> (45MJ/m <sup>3</sup> )	平成24年 5月	平成24年 6月	増減
適用料金(円/月)	5,393	5,434	41

\* 標準家庭料金の計算方法

東京地区等

本体料金(税込) = 基本料金(1,110.90円)

$$+ \text{調整単位料金}(133.65 \text{ 円}) + 1.46 \text{ (円)} \times 32 \text{ m}^3$$

料金改定時の基準単位料金(税込) ↑ ↑ 単位料金調整額(税込)

・ 小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m<sup>3</sup>あたりの単価)を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格(66,180円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m<sup>3</sup>あたり0.0861円(0.082円に1.05(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が105,890円(上限値)を超えた場合には、「平均原料価格」は105,890円としてガス料金の調整を行います。